

対談 本庄さとし × 岡田ちか

[衆議院議員] [柏市議会議員]

岡田 衆議院議員本庄さとしさん。改めておめでとうございます。13万5125人の方々から、大切な1票を託して頂きましたね。

本庄 皆様のお陰で、大きな勝利を頂くことができました。千葉8区の皆様の「国も地元も政治を変えてほしい」という思いが、この結果につながったのだと思います。岡田さんにも、街頭演説会の司会などをして頂き、ありがとうございました。

岡田 貴重な経験の場を頂き、感謝しています。

さて、就任早々、文書通信交通滞在費100万円問題が注目を集めています。柏市議会では、会派に属する議員は、月8万円の政務活動費をお預かりしています。年度末には、報告書を作成、市のHPでも公開していますし、使わなかった分は、お返しします。勿論、領収証添付は、必須です。やはり、永田町の常識は、世間の常識とは、相当乖離しているように思えてなりません。

本庄 はい。この文通費改革は、旧民主党政権でも検討していました。私も、当時、岡田克也幹事長の下で、事務局として関わりました。今回の件について、100万円を国庫返納することは当然ですが、法改正を含む抜本的な制度改革が必要です。立憲民主党の新人議員15名全員の連名で、党政治改革部会に要望書を提出しました。詳しくは、私のFBをご覧ください。(https://fb.me/honjosatoshi) また、年間2千万円もの歳費を受け取りながら、1年の半分しか国会が開いていないという立法府のあり方にも、引き続き、取り組んでいきたいと思っています。

岡田 様々な法や制度の改正に、ご尽力いただき『正直ものが馬鹿を見る』ような社会をなくして頂きたいと思います。

さて、ここ千葉8区からは、2012年まで在職されていた故松崎公昭先生退任以来、9年ぶりの民主党系議員の誕生となりました。

私は、現在、柏市議会議員2期目ですが、これまでの約6年の間には、市民の皆様から、通学路の安全対策、期日前投票所の増設、コミュニティバスの導入、移動図書館の復活、公園や道路の整備といった地域根ざした要望を沢山頂戴し、議会などでも改善に向けた要望を続けてきました。一方で、介護人材確保の取り組み、仕事と病気治療や家庭との両立、休日夜間保育の事業の積極的導入、ヤングケアラーを含めたケアラー支援、などは、市独自の支援を要望しても、国の具体的政策で対応すべきといった答弁がなされる事が、度々ありました。今後は、頂いた意見を、本庄さんを通じて国に届け

て頂きたいと思っています。

本庄 ヤングケアラー支援体制の強化、仕事と子育ての両立支援、超高齢化社会への対応などは、私も選挙の際に「政策ビジョン2030」としてお示ししています。政策には、国政、県政、市政と連携した取り組みが必要だと思っています。是非、一緒に取り組んでいきましょう。

岡田 心強い言葉を頂き、ありがとうございます。

今後のコロナの状況は、まだ、不透明です。柏市では、これまで市の対応の遅れや接種券発送の遅れ、情報発信力の弱さについて、沢山の批判を頂戴しました。また、コロナに感染した妊婦が、自宅で出産、新生児が死亡した件では、市の対応に不安を持たれた方も多かったと思います。市の危機管理能力に問題があったことも確かですが、一方で、目まぐるしく変わる国の方針に、自治体に対応しきれなかったという側面もあると感じます。本庄さんには、こうした自治体の状況も把握して頂き、第6波に備えた対策をしっかりと国に届けて頂きたいと思っています。

本庄 同時に、事業者支援は喫緊の課題です。スピード感と現場感覚を持って、取り組んでいかなければなりませんね。

岡田 ええ。社会保険労務士という立場からも、コロナ禍で影響を受けた事業者に対して、必要な支援を行って頂きたいと思っています。11月30日には、代表戦が行われ、泉健太代表が誕生しました。私は、昨年9月の国民民主党解党以来、無所属で活動していましたが、今年5月に立憲民主党に入党しました。党内には、様々な意見がありますが、困っている方に寄り添いたいという気持ちは、同じです。皆様のために働く政党として力をあわせて参りましょう。

本庄 泉新代表の下で、挙党一致体制をつくり上げ、有権者に政権の選択肢と認識していただけるような政策を示していかなければなりません。「立憲民主党は変わった」と思っただけのよう、私自身、全力を尽くして参ります。

